

一般質問

一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考え、方針を個人として問いたす事です。

質問内容はあらかじめ議長に提出することになっており（通告制）、定例会でのみ行われます。

申し合せ事項として須恵町の一般質問は、前列の一般質問席で行い、一人一時間（質問、回答含む）、質問は三回までと決められています。



町民聴講生制度を問う

効果的・好意的に受け入れられている



藤石 豊 議員



授業を受ける聴講生（須恵中学校）

須恵町では生涯学習・共生のまちづくりの一環として地域に開かれた学校を目指して愛知県扶桑町、福岡県那珂川町に次いで全国で三番目の町民聴講生制度を須恵東中学校で本年十月から実施され二ヶ月余が過ぎ、現在七名の一般町民が聴講生として授業を受けられています。

問

須恵町では生涯学習・共生のまちづくりの一環として地域に開かれた学校を目指して愛知県扶桑町、福岡県那珂川町に次いで全国で三番目の町民聴講生制度を須恵東中学校で本年十月から実施され二ヶ月余が過ぎ、現在七名の一般町民が聴講生として授業を受けられています。

答 東 教育長

学校側からの報告などから、教育委員会としましては、現段階では聴講生をはじめ、生徒・教職員・学校のいずれも効果的、しかも好意的に受け入れられていると理解しています。

須恵東中学校以外での取り組みについては、当初から町内の学校を対象としておりましたが、今回偶然にも応募者が須恵東中学校校区内の方であったため、今後、町内全部の小・中学校に呼びかけていきたいと考えています。

今回の聴講生制度は一つ新たな費用負担がないわけで、そういったものが一番望ましいのではないかと考えます。今二ヶ月を経過し、非常に良い結果を生み出しているので、この状態の中、来年度も継続していきたいと云うことですが、学社融合事業の一環ですから、学が人・教える側の学校が双方に利益を生むということであれば継続をしていきたいと思っています。

答 中嶋 町長

この聴講生制度というのは、学社融合事業、あるいは学校開放の一環としてやってきた事業で、今までも須恵中学校の学び教室、小・中学校のコンピューター室を使う老人クラブのパソコン教室等の延長上にあるわけですから、



森 勝己 議員

急速な少子高齢化に伴い、年金、医療、介護など持続可能な社会保障制度の構築、人口減少社会を乗り越えるための改革が緊急の課題になっています。行政コストを削減し徹底して無駄使いをなくし、廃止するもの、統合するものを順に検討し、現場の視点、外部の目、二つの観点から行政の仕事として本当に必要なものを洗い直すことができないか。本町の行政改革の取り組みと町長の今期の総括、今後の見通し、また、決意や思いは。

問

祝 須恵町還暦祝賀会



来年度以降の開催が検討されている「還暦祝賀式」

収入財源の確保は、収納率を向上させること、土地貸付料の見直しによる収入の増、財産の売却による収入を充てようと考えています。歳出の削減については、職員の削減また、それによつて発生する時間外手当の抑制をします。それから管理職手当の見直しを図っていきます。経常収支が現在九二％という危機的状況にあるため、八五％以下に落とすべく努力をしています。そうしたことからは、各団体あるいは行政区への補助金や交付金の見直し、行事等の精査をやつての一本化、施設の管理や経営の民営化等、思い切つた経費の削減を考えています。

収入財源の確保は、収納率を向上させること、土地貸付料の見直しによる収入の増、財産の売却による収入を充てようと考えています。

答 中嶋 町長

行財政の集中改革プランというものを、収入役をトップとして各課長で煮詰めてきました。来年度から二十二年度までにどういったものを削減していくかという

もので、職員については、この五年間で十七名削減、嘱託職員についても同様の削減をしていく、ちなみに今年度では職員七名、嘱託職員十二名を削減していくという計画を立て

『事業仕分け』で徹底した歳出削減

行財政集中改革プランを策定